

自己実現への道

第108回 ー 第8章 「信念さえあれば必ず道は開ける」(その12)

★ 心がけひとつで「顔」はいくらでも変わる

あるとき、リンカーン大統領はある補佐官に「あの男の顔はどうも気に入らないね」と言ったと伝えられている。

「だれでも、持って生まれた顔はどうしようもございませんよ、閣下」と補佐官は答えた。

「いや、心がけの問題だよ」と大統領は言ったということである。

消極思考型の人達の顔は硬直していたり、表情に敵意やよそよそしさが潜んでいたりする。

皮肉な人間の顔には懐疑心がつけた数々の傷跡が、深いしわとなって刻み込まれている。

ひとつひとつの思考活動は、大理石像の上に落ちる一つ一つの水滴と同じように、人間の心とその窓である顔の上に（消すことのできないものもあれば、眼につかないほどのものもあるが）何らかの傷跡を残していく。だから、心がけがよければ、心も顔も美しい人間になることができる。

確実な効果を期待できる美容術を例示しよう。



- 慈愛深く、寛大な心を持つ。信念による希望の光が目元に輝く。
- 人々のいちばんの長所を認める。
- お互いに人間同士だから、誰に対しても友好的な態度で接する。
- 下品な顔つきの人間にならないように心に誓う。
- 苦難と苦痛、災難と病苦、これらはすべて、新設や思いやりの心を培うのに役立つ経験であることを信じる。

やがて、あなたに会う人々は、あなたの顔つきが晴れ晴れとして美しいと言ってくれるようになるであろう。背筋を伸ばし、肩を張り、上を向いて、正しい姿勢で歩こうではないか。

リンカーンはもともと人相が悪かったことで有名である。しかし…

人相はその人の努力によっていくらでも変わる。リンカーンは不断の努力によって、ついに品格のある立派な顔に一変した。

顔は人格をあらわす。
隠すことはできない。

<MIKO>

参考文献：Tough Minded Faith For Tender Hearted People by Robert H Schuller より

